

県広報

1991  
No.264

1

# とやま

《年頭の辞》 **新しい年を迎えて**

富山県知事 中沖 豊

トピックス/ **21世紀への雪プラン**

～新富山県総合雪対策計画

特集/ **一日部長・一日庁議**



寒ブリの水揚げを喜ぶ酒井光雄さん  
(氷見市女良漁港にて)

## 古代の越の国を思う

高岡市万葉歴史館館長

大久間喜一郎

越の国の名は早くから大和地方には知られていた様である。「越」は高志(古事記)とも古志(風土記)とも書かれる。伝承の上から言えば、大和の人々よりも出雲の方が先に知っていたかも知れない。出雲国風土記には、越の八国(風土記本文には「八口」とあるが、やはり八国と考えるべきであろう)を平定した英雄として、「天の下造らしし大神大穴持の命」の名がしばしば登場する。大穴持命はいわゆる大國主神である。大國主がどの様にして越の国を平定したか、恐らく風土記とは別に伝えられたものであろうが、古事記には大國主の分身と見られる八千矛神が高志の沼河北売に求婚する話がある。これは神話と称する五首の長歌語から成る神事劇を思わせる歌物語である。八千矛神はその名の通り大國主の武將としての一面を示すと考えられるから、求婚を受ける沼河北売の方に「命はな死せたまひそ」という哀願の言葉が見られるのも当然かも知れない。

高志の国ではそれが翡翠であったのではないかと思う。八千矛神の求婚した沼河北売とは、翡翠の採れる川として「瓊な河」(玉の採れる河)の意をもつ奴乃加波郷を象徴する郷であった。したがって、沼河北売への求婚自体が翡翠獲得の為の行動を意味すると言っよう。

越後国古志郡は古代にあっては、今の古志郡より遙かに広大であったと言われる。それ故、越後・越中・越前を中心に越の国と一口に言われるようになったと考えられるのだが、それだけに、この三つの国の境界は、後世の人にとってはかなり曖昧になってしまったようだ。歴史的には越後の国の一部が出羽国となったり、越中の四郡が分割されて越後国に編入されたり、越中国に能登四郡が併合されたり、また分離したりといった行政上の措置が、この三つの国の区画を不明瞭なものにしてきたことは確かである。万葉集巻十六に見える「越中国の歌四首」の中に、新潟県西蒲原郡の弥彦山・弥彦神社を歌ったとしか考えようの無い歌が二首存在する。万葉研究家を今以て悩ましている一つの問題が此処に在る。



## 年頭の辞

## 新しい年を迎えて

富山県知事 中沖 豊



謹んで県民の皆様には新年のごあいさつを申しあげます。

今日、国際情勢は、東西ドイツの統一やソ連・東欧諸国の民主化など歴史的な転換期を迎え、国内では、多極分散型の国土形成が強く求められ、また、人々の価値観も「物の豊かさ」に加え、「心の豊かさ」が大変重視されるようになっております。

このような時こそ、内外の諸情勢に的確に対応し、柔軟な発想と果敢な行動力で、県民一人ひとりに幸せが満ち溢れるような県づくりを進めなければなりません。

とくに今年は、二十一世紀への県づくりのシナリオともいべき新しい県民総合計画がスタートする年であります。県民の皆様と力を合わせ「日本のパイオニア県」を合言葉に、「しあわせに生きる富山の創造」を目指し、全力を尽くしたいと思っております。

また、県づくりの重要な視点として、心豊かな幸福社会を目指す「生活立県」、世界に開かれ貢献する「国際立県」、すばらしい人材が育ち、集うような創造性あふれる「人材立県」を掲げ、新しい時代に力強く立ち向かっていきたいと思っております。

幸い本県は、県民の皆様の積極的なご尽力により新しい時代に向かって着実に歩み続けております。環日本海時代を迎え、日本海国土軸の形成など沿岸地域の振興と対岸諸国との友好交流の促進に一層努力したいと思っております。また、北陸新幹線の全線整備と並行在来線の存続をはじめ東海北陸自動車道、能越自動車道等高速交通体系の整備に努めるほか、総合運動公園の建設、県立中央病院の整備を積極的に推進してまいりたいと存じます。さらに、総合雪対策をはじめ日本海ミュージアム構想、全県域下水道化構想、全県公園化構想などの重要施策の推進と農林水産業、商工業の振興に全力を尽くします。また、平成四年に第一回ジャパンエキスポ富山'92が開催されますが、全国のモデルとなるような、个性的で独創性のある楽しい博覧会となるよう鋭意準備に取り組んでいく所存であります。

今年羊年であり、繁栄の年、豊かな生活設計ができる年といわれております。平成三年が富山県にとりまして、大飛躍の年となりますよう心から願って止みません。県民の皆様への県政に対する積極的なご協力を切にお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申しあげまして、新年のごあいさつといたします。



▲文芸座の講演「五月」

# “演劇の富山、で初の地方開催

## 第29回全国アマチュア演劇研究大会開催



◀全国アマチュア演劇協議会 原千代海会長が開会の挨拶

国内外十四のアマチュア劇団が参加しての第29回全国アマチュア演劇研究大会（全日本アマチュア演劇協議会主催）が、11月22日から25日までの4日間、富山市の県教育文化会館を主会場に開催され、連日大勢の観客が訪れました。

従来、この大会は首都圏で開かれていたのですが、これまで国際的なアマ演劇祭を三回にわたって開催している富山県が初の地方開催地となったものです。同大会は、日本各地で活動するアマチュア演劇グループが集い、それぞれの演劇上演を通じて活動のあり方や技術面での研究を行い、アマチュア演劇の向上と発展を図ろうというものです。今回は、特に韓国、オーストラリアからもアマチュア演劇グループが参加、国際規模での交流が図られました。

富山県からは文芸座、富山女子高校演劇部、アクター・ギルドが参加し、熱気あふれる演技に、観客から盛んな拍手が送られました。

また、各グループの劇上演の他、ワークショップやシンポジウムが開催され、大会を盛り上げました。



# 一人逸品

## 第24回職業能力開発フェア



「じ・ぶ・ん・パワーアップ」をテーマに、第二十四回職業能力開発フェアが、十一月十七・十八日の両日、富山市向新庄の職業能力開発カレッジで開催されました。同フェアは毎年開催されているもので、今年は、技術専門学院など三施設が整備されたカレッジではじめての開催となりました。今年六月に完成したばかりの体育館では、技術専門学院や民間の職業訓練学校の生徒が製作した生活用品や調度品などの展示即売会の他、井波木彫や和裁、板金の実演なども行われ、大勢の人がつめかけました。

また実際に木版画の年賀状作成や土人形の色付けなどが体験できる「技術体験コーナー」も人気を集めていました。

その他、各種技能講習会の作品展示や、富山県卓越技能院会員の名工品展も共催され、富山県の伝統産業を支える名工の作品の数々に、訪れた人たちは熱心に見入っていました。

出席者



安孫子素雄(藤子不二雄A)氏  
漫画家(氷見市出身)



高野悦子氏  
岩波ホール総支配人(黒部市出身)



佃 義範氏  
ツクダ社長(富山市出身)



# "日本のパイオニア県、をめぐって"

## 第6回イメージディレクター懇談会開催



長澤忠徳氏  
デザインディレクター(富山市出身)



山田允夫氏  
NHK名古屋プレックス社長  
(元NHK富山放送局長)



中沖 豊 富山県知事

富山県のイメージアップのあり方を探るイメージディレクター懇談会が十二月三日、東京の赤坂プリンスホテルで開催されました。

この懇談会は、富山県にゆかりのある著名人が知事を開んで富山県のイメージアップについて意見を交換するもので、今年が六回目です。

ディレクターからは、「富山が環日本海交流の拠点として情報の発信基地となる必要がある。『映画『少年時代』』の中に出てくる富山の自然の美しさは、海外でも高く評価された。この美しさをイメージアップに生かせばどうか。『国際映画祭などを誘致して、映像を通して日本海文化を考えてはどうか。』量と質の時代が終わり品位の時代になってきており、それにふさわしい対応が大切」など、日本のパイオニア県を目指したイメージアップの取り組みについて活発な意見が交わされました。

# 富山県立図書館創立50周年記念 フォーラム・式典



# 対岸交流の情報拠点に

## 県立図書館創立50周年記念フォーラム



県立図書館は、今年創立五十周年を迎えました。同館は昭和四十四年に現在の富山市茶屋町に移設され、順次文献検索機、雪の文献室、とやまの本コーナーなどを整備。また、今年三月には「まんがコーナー」、四月にはコンピュータによる図書検索システムが稼働するなど、創立以来県民の文化・情報拠点として重要な役割を担ってきました。

この創立五十周年記念フォーラムが、十一月三十日県民会館で開催されました。フォーラムは「対岸交流の過去・現在・未来」をテーマに行われ、日本国際問題研究所・ソ連研究センターの金田辰夫主任研究員の基調講演の後、高井進県立図書館長をコーディネーターに五人のパネリストが意見交換をしました。

各パネリストからは「ソ連に関する情報収集の手段が少ないので、県立図書館が中心になって整備してほしい。『芸術文化の交流促進が相互理解につながる。』など活発な意見が出され、約二百人の参加者とともにこれからの対岸交流の促進や図書館の果たすべき役割について熱心な討論が行われました。

# 新富山県総合雪対策計画

# 21世紀への雪プラン



ここ数年の暖冬続きで、うらめしそに空を見上げているスキー愛好家。またその一方で季節はずれのゴルフを満喫しているお父さん。人それぞれ暖冬に対する思いは様々です。でも「冬に雪がない富山なんて、〇〇〇〇を入れないコーヒーみたい。」と感じている人は案外多いのかも知れません。「雪かきでいいし、雪おろしもせんでいい。あんた何をバカなことをいうとるがいね。」とおっしゃる方もいらっしゃるでしょう。確かに五六豪雪のあの異常な降雪は、県民生活や社会活動に大きな被害をもたらしました。それを契機として、県では昭和六十年三月に都道府県レベルでは全国初の「富山県総合雪対策条例」を制定。以来、幹線道路の除排雪を中心とした克雪対策など、雪害のない街づくりに取り組み一定の成果をあげてきました。雪対策の目標は降積雪時においても、いつもと変わらない暮らしの安全性、利便性、快適性を備えた魅力ある富山を創造し、雪の中でも活気にあふれた県民生活を実現することです。その一層の推進を図るため、県では平成三年度から十年間の県内雪対策の指針となる「新富山県総合雪対策計画」を策定しました。



## 雪対策の基本方針

### 1 施策の基本的方向

#### 1 雪害のないまちづくり

- 雪に強い、快適な街づくりを推進します。
- 交通の確保及び情報通信体制の整備を図ります。
- 除排雪を積極的に推進します。

#### 2 産業の雪害防止

- 交通、通信網の確保等、産業活動基盤の整備に努めます。
- 農林漁業、商工業などの産業の雪害防止に努めます。

#### 3 雪災害対策の推進

- 「富山県地域防災計画」に基づいて、豪雪時における雪害対策に万全を期します。
- 豪雪時の除排雪体制の強化を図り、生活必需品の確保に努めます。
- 克雪・利雪技術の開発、スノービジネスの振興を図ります。
- 県民総ぐるみで雪対策を推進するため、雪に対する県民意識の高揚を図ります。

#### 2 計画における重点課題

##### 冬季生活文化の向上

- いきいき富山雪の祭典、雪見ハイキング、雪中オリエンテーリングなどのアウトドアライフを奨励します。

##### 雪を利用した産業の育成

- いきいき富山冬の観光光キャンペーンを強化します。
- スキーリゾートの形成を図ります。
- スキー利用の栽培技術の普及を図ります。
- 新たなスノービジネスの開発に取り組みます。

##### 5 雪対策技術の研究開発の推進

###### 調査、研究体制の強化

- 雪対策技術に関する四十八項目の調査研究に取り組みます。

(例)

- 路面凍結予測システムの開発
- 克雪用水広域ネットワークシステムに関する実証研究
- 雪に強い新交通システム導入に関する調査

##### 6 市町村との連携協力など執行体制の強化

###### 市町村との連携・協力による施策の推進

- 駐車場付置義務条例の改善、普及を図るとともに、立体駐車場、駐車場案内システムを整備し、総合的な駐車場対策を推進します。

### 1 雪国らしい都市空間の創造

雪国ならではの雰囲気をもった、快適で住み良い街づくりを進めます。

#### アメニティ都市空間の創出

- 「雪国快適まちづくり事業」を積極的に展開し、除排雪から親雪活動を含む総合的な街づくりを進めます。
- 快適なショッピングが楽しめる商業空間の創出を図ります。
- 透明シャッターの設置や街路樹のイルミネーション化などにより、冬の夜を楽しく演出します。

#### 歩行者空間の確保

- 地下通路、無散水消雪を導入します。
- バスシエーターを設置するなど、バス停留所の無雪化、快適化を図ります。

### 2 屋根雪処理対策及び歩道除雪の強化

雪による障害のうち、特に雪害感の強い屋根雪処理対策と歩道除雪について、施策の強化を図ります。

- 「雪に強い住宅マニュアル」を作成し、モデル住宅の建設により、克雪型住宅の普及、啓発を図ります。
- 雪に強い住宅づくり融資制度を充実します。
- 除排雪ボランティアの活動を支援します。

#### 歩道除雪の強化

- 市街地、通学路など人通りの多い歩道の除雪を強化します。

### 3 高齢化社会への対応施策の強化

高齢者が冬期において不安なく快適に暮らせる生活環境の整備に努めます。

#### 居住空間の快適性の向上

- 克雪型で、保温、防湿に優れた雪国型快適住宅の普及を図ります。

#### 交通手段の確保

- 農山村住民の足の確保を図ります。

#### 生活機能の充実

- 地域ぐるみの除排雪を進め、一人暮らし老人等用に福祉電話、緊急通報装置を整備します。
- 老人世帯などに対する屋根雪等の除排雪作業の支援を強化します。

### 4 親雪・利雪活動対策の充実

雪の持つ多面性を認識し、富山の冬を生き生きとした楽しく明るいものにするため、各種の利雪、親雪活動を積極的に推進します。

#### 冬季スポーツ・レクリエーション施設の整備

- ファミリースキー場等、冬のスポーツ施設の整備を図ります。
- スーパードーム型のスポーツ施設や、小規模全天候型グラウンド施設を整備します。

# 一日部長・一日庁議



土木部長 中村芳子さん



総務部長 ズンズ・ラミさん



企画県民部長 谷内清子さん

## ジャパンエクスポで 富山をPR

県民の県政に対する理解と関心を深めるため毎年開催している一日部長と一日庁議。今年は十一月五日と十五日に実施しました。五日の一日部長では九名の皆さんに事業説明の後、施設を視察してもらい、十五日には知事を交えて一日庁議を開催し県政に対する意見や提言をいただきました。その概要を紹介します。

谷内（企画県民部長）●ジャパンエクスポ富山'92を成功させるためには、宿泊施設のことも考えていかなければならないと思います。例えば婦人会などで県外の団体を受け入れて、地元市町村のPRを兼ねた交流の場を設けるとともに、会員の自宅に宿泊していただき、翌日博覧会の会場を案内するというホームステイのようなことを考えてみてはどうでしょうか。

ラミ（総務部長）●外国人、特に留学生は日本に来た時、最初に日本語の勉強をしますが、その最初の場所が強く印象に残ります。県立大学等に日本語を学ぶ施設をつくって、北陸エリアに来て外国人に日本語の勉強をしてもらうとともに、その時に県のいろいろなところを見学してもらえば、富山県が一層好きになるのではないかと思います。

中村（土木部長）●県では雪に強い住宅、高齢者の方にとって住みやすい住宅など、住宅についてかなり研究を進めておられ、情報も大変たくさんお持ちだと思います。そこで住宅に関する総合情報センターをつくって、県民の相談等に応えるようにすれば良いのではないのでしょうか。

黒澤（企業局長）●企業局では一〇年、二〇年先を見越した長期的な計画に基づいて施策を進めておられます。これだけ変動の激しい世の中であり、その推進にあたっては、各層からのいろいろな意見を十分聞くような機関を作ってもらいたいですね。

藤井（教育長）●生涯学習カレッジでは、大変なことになる各種の講習会や講座を数多く開催されていますが、県民全部に周知するような、PRをしてもらいたいと思います。

## 快適な環境の 形成のために



▲（企画県民部長）谷内清子さん  
消費生活センターにて



▲（教育長）藤井利晴さん  
県立図書館にて



▲（総務部長）ズンズ・ラミさん、国際文化センターにて



- 企画県民部長 谷内清子さん  
（富山県婦人地域活動推進員高岡市連絡会代表）  
視察先 富山ジャパンエクスポ協会・公害センター・消費生活センター
- 総務部長 ズンズ・ラミさん  
（外国人懇談会メンバー）  
視察先 国際文化センター・公文書館・県立大学  
厚生部長 稲坂啓子さん  
（富山市医師会看護専門学校教務課長）  
視察先 流杉老人ホーム・薬用植物指導センター・上市保健所・めぐみ保育園
- 商工労働部長 角井法子さん  
（学校法人白井学園富山デザイン専門学校副校長）  
視察先 技術専門学院・工業技術センター中央研究所・機械電子研究所・とやまIDC・富山産業創造センター
- 農業水産部長 魚崎忠雄さん  
（富山県魚普及協議会理事）  
視察先 水産試験場・県営早月川さけますふ化場・食品研究所・農業技術センター
- 土木部長 中村芳子さん  
（総合開発審議会郷土づくり部会専門委員）  
視察先 松川（河川環境整備事業）・富山南県営住宅・月岡加齢者住宅・ホルファート富山・富山空港管理事務所・総合運動公園・国道三五九号婦中バイパス事業
- 農地林務部長 西村元成さん  
（四千石用水土地改良区理事）  
視察先 緑化センター・宿坊大橋（山田村）・下条地区（大門町）・牛ヶ首用水（富山市）
- 企業局長 黒澤易彦さん  
（富山県工業用水利用協議会理事）  
視察先 コンドラスキー場・利田川水道管理所
- 教育長 藤井利晴さん  
（富山県水泳連盟普及委員長）  
視察先 富山商業高校・生涯学習カレッジ・埋蔵文化財センター・県立図書館・県営富山弓道場

富山県知事 中沖 豊



富山県知事 中沖 豊



厚生部長 稲坂啓子さん



農業水産部長 魚崎忠雄さん



商工労働部長 角井法子



農地林務部長 西村元成さん



教育 長 藤井利春さん



企業局長 黒澤易彦さん

## 富山は 創造の地

谷内●中学校の英語の教科書にニューヨークの酸性雨の問題などが取り上げられています。これを現実の環境問題の話と関連付けて子供たちに教えるなど、環境問題をグローバルにとらえて教育することを考えてみてはどうでしょうか。

中村●行政と住民の地域開発のとらえ方にずれがあるのではないかと思います。今後の地域開発を考えていくうえで、県と住民のコンセンサス作りの場をもっと増やすことを考えてもらいたいですね。

西村(農地林務部長)●ゴルフ場の建設については、自然保護や生活環境の保全との兼ね合いを十分考慮してもらいたいですね。

ラミ●富山県旅券センターはとやま国際センターの隣にあつても便利ですが、一日百五十人ほどの人が来ると聞いてスペースが狭いと感じました。

黒澤●県庁へ行くなどの部屋もどこに座つたら良いのかと思うくらいに狭い。整理整頓を心がけて県民が入りやすい庁舎にしてもらいたいですね。

西村●雪が降るようになると用水の工事が始まって水が止まります。雪捨てができないので配慮してもらいたいですね。

## よりよい人材の 育成のために

富山県としては、芝桜を植えるなど楽しく管理できるような堤防を作っていただきたい。

稲坂(厚生部長)●福祉行政の中で副読本の作成や高校生の一日看護体験などを実施されていますが、よりよい人材の確保のためには小さい頃からの体験が非常に大切です。流杉老人ホームでは近くの小学校と定期的に交流があります。中学校になると全校挙げてのかかわりが乏しくなっています。是非、県の方で、小さい頃からボランティア体験ができるようなシステムを検討してもらいたい。きつと思ひやりのある県民に育つと思ひます。角井●技術専門学院は非常にすばらしい施設ですが、そこで学んでいる学生が県外へ行かないように、そして県の地場産業などに貢献してもらおうようにしていただきたい。また、技術を通して感性の豊かなインテリジェンスを創造できるようなカリキュラムを作りたい。ただ、すばらしい技術者を育成してもらいたいと思ひます。

藤井●二〇〇〇年国体に向けて体育施設等が整備、計画されていますが、それとともに良き指導者のもとで選手を育成できるようにしてもらいたいですね。また、技術だけを教えるのではなく、その子の将来にわたる指導を

角井(商工労働部長)●富山は自然環境に恵まれて、ものを考えたり、生み出すのに非常に適したところであると実感しています。また、情報処理産業など頭脳集積型産業の業務団地イノベーションパークの説明を聞いたりして、地方でありながら情報収集の可能性も高いと思ひました。このように富山は創造の地としては最適であるということ、行政サイドからも広く全国、世界にPRしていただきたいですね。

魚崎(農業水産部長)●水産試験場は海に近い割には真水が豊富であり、三キロメートルほど沖合では三〇〇メートルの水深があり、そこから二、三度の低温水が得られるなど、研究施設としては非常に立地条件が整っています。ホタルイカやバイなど深海魚の研究のために、また、海藻類や魚介類の飼育のために、この深層水をとる装置をつくつてはどうでしょうか。

ラミ●富山県で民俗薬物の国際センターをつくるという話を聞きましたが、薬物は世界中にあります。中国や韓国ばかりでなく、ブラジルやザイル、インドネシアなど熱帯雨林地域の薬物がたくさんあるところとも共同して研究することを、検討してもらいたい。

魚崎●富山県の漁業者の中には水産試験場のデータとか、調査、研究資料を必要としている人が多いので、ぜひ技術改良普及員のような制度を設けてもらいたいですね。

西村●地元では草むしりなど堤防管理のお手伝いをしています。花と緑の日本一を目指す

行方など、精神的にバックアップできる指導者が必要ではないかと思ひます。

角井●工業技術センターで工業技術的な分野だけではなく、異業種間の人材交流の場を若者に提供すれば、おもしろい発想が生まれるのではないのでしょうか。

藤井●小体連、中体連、高体連というのがありますが、同じ体育連盟であっても縦の連絡がまだまだ不足していると思ひます。子供が進学しても引き続き指導できるように工夫していただきたい。

谷内●生涯学習プランは、いろいろと内容が豊富ですが、男性の参加が非常に少ないので、男性が興味を示すようなプランを計画の中に入れてもらいたいです。

稲坂●県の出生率は低いが、産めよ増やせよというだけでは、その上昇は難しいと思ひます。やはり労働条件等との関係もあるので、安心して子供を預けられる保育園、幼稚園を

発展させてもらいたいですね。

谷内●江戸川区では、保育園の代わりに子供を育てた人が他人の子供を預かる保育ママ制度を導入しています。一対一の対応は子供にとって非常に重要なので、そのような制度も検討してみてもどうでしょうか。

知事●すばらしいご意見・ご提言ありがとうございます。皆さんのお知恵を検討させていただきます。できるものから実行していきたいと思ひます。

(注)一部部長の提言等に対する知事の発言は紙面の都合上割愛しました。



▲(厚生部長)稲坂啓子さん。母と子の良い歯のコンクール知事賞授与



▲(商工労働部長)角井法子さん。工業技術センター機械電子研究所視察



▲(農業水産部長)魚崎忠雄さん。食品研究所視察



▲(農地林務部長)西村元成さん。緑化センター視察

▲(土木部長)中村芳子さん。松川河川環境整備事業視察



# 羊の三助焼

撮影／赤羽仁論

慣れた手つきで

羊が息づく

やさしい眼をした

羊が微笑む

# 「世界中の富山県」

レポーター：広島由里さん(ミス富山)

「人・もの・情報」の流れが、地球的規模で飛躍的に拡大しています。私達の身近でも誰もが気軽に海外に出かけ、また多くの外国人が日本を訪れるようになり、日本のいろんな良いところを吸収しようとしています。

それだけ、日本の世界に果たす役割も大きくなってきていると言えるでしょう。

学術国際課は、「世界に開かれ貢献する富山県」をめざして、経済・文化をはじめとする幅広い分野での国際交流を推進しています。

## 県庁内の「国際化」も積極的に

まず学術国際課に足を踏み入れてびっくりしたのは、金髪の女性が二人も仕事をしている事でした。さすがに国際的な感じですね。お二人とも県が友好提携をめぐらして交流を進めているオレゴン州から来県され、バジロンさんは県の国際交流員として、また、シャラートさんは県とオレゴン州との職員相互交換プログラムによる派遣職員として勤務されているとのこと。



▲シャラートさんとバジロンさん

一方井課長は、「まず、県庁内の国際化を進めることによって、それが多方面へ影響してくれば」と話しておられました。現在、富山県は、中国

近年では日本の世界に対する役割が大きくなり、私達の間でも「国際化」という言葉が、より身近に感じられるようになっていきます。そのような時に学術国際課を訪れて国際交流の大切さについて、改めて考えてみるのは良い機会だと思いました。

遼寧省やブラジルサンパウロ州と友好提携を結んでおり、また県内の八市町村が世界の十四都市と友好提携を結び、交流を深めています。



次に訪れた勤とやま国際センターは、行政・大学・経済界・県民が一致協力して、「民間レベルの国際交流を目指し、積極的な活動を展開しています。外国人への県内の情報提供サービス、中国・スペイン語講座、ホームステイの受入れ、国際交流パーティーなど、その事業内容は幅広く、また、マリエとやまの六階にあるので、誰でも気軽に利用できます。ここでは、アメリカ人のニューボートさんに、国際交流ラウンジや資料展示室を案内して頂きました。ニューボートさんの日本語はバツチリ。とても親切で気さくな方でした。国際交流というとなんか難しく考えがちですが、

## マリエとやまの6階で、気軽に国際交流

て、現地でも生き生きと楽しみながら仕事をしているそうです。最近女性が強くなったと言われますが、こんな面にも表れているのかなと思いました。このようになんかの努力がその国の発展の手助けとなり、日本に対するより一層の理解の促進につながっていくのだと思いました。

て、相互理解を深めていくのがこれからは大切だと感じました。

## 最先端設備とゆつたりしたスペースの開かれた大学

### 富山県立大学

学術国際課には国際交流の推進の他に、学術・私学の振興と高等教育機関の整備というもう一つの大きな仕事があります。そこで次に私は、今年四月に開校したばかりの富山県立大学へと足を運びました。県立大学では圧倒される事の連続でした。とにかく広くてきれいな図書館とコンピュータ端末機が並んだTSS室を案内して頂きましたが、その最先端の設備の素晴らしさと、ゆつたりとした空間には感心させられてしまいます。大学では、先生と生徒の結びつきを強めるために、一



▲コンピュータ端末機が並ぶTSS室



▲藤井学長に県立大学図書館を案内してもらいました

年生のうちから十人程度の教養ゼミナールを実施しています。また地域とのつながりを大切にし、県との共同研究や、産業界からの委託研究も行っていて、先生方は最先端の研究設備を駆使して高いレベルの研究に取り組んでいるとのことでした。この他一般の県民を対象に公開講座を定期的に開催しているそうです。学長さんにキャンパスを案内して頂きとても恐縮しましたが、広々とした校舎や最先端の設備、優秀な先生方の指導のもとで勉強できる学生がとてもうらやましくなりました。大学生活の経験のない私にとって、こんな大学なら今からでも大学生になって勉強してみたいと思いましたが、理数系の苦手な私には逆立ちしても無理でしょう。



けてみるのも第一歩だと思えます。肩ひじをはる必要はなく、人と人との自然な触れ合いによつ



▲とやま国際センターでニューボートさんはとても上手に日本語を

ここに気軽に立ち寄って外国人に話しか

ふるさと  
みてある記

# 婦中町

曲がりくねった流れに御神酒を注いだ杯を浮かべ、自分の前を通り過ぎるまでに和歌を詠む「曲水の宴」。その昔、貴族の間で行われた優雅な行事だ。この「曲水の宴」が、一昨年、婦中町の各願寺で復活した。同寺では平安時代に盛んに催されていたようで、この様子を描いたイラストも残っている。

青山光明さんは、昨年、往時の貴族さんながら

## 平安絵巻を再現「曲水の宴」



▲「曲水の宴」で歌を詠む青山光明さん

の衣裳で次の歌を詠んだ。  
新緑の花水谷ゆり水の

宴にきよく去にし世のまま

「この年のテーマは新緑。各願寺の山手にある緑鮮やかな花水谷から流れる水が、昔のようにきれいであってほしいということ詠んだ歌なんですよ。」と青山さん。各願寺周辺は開発が進められ、湧水も以前に比べると少なくなってきたか。

沖繩で終戦を迎え、捕虜になっていた時に短歌を習ったという青山さんは、他にも民謡や俳句など多彩な



しいですね。」と青山さん。

趣味を持っている。「平安調の衣裳を着ると、昔の歌人になったような気がしました。また、うしろで雅楽が奏でられ、気分が盛り上がりましたよ。」昨年からは中学生も参加。「この曲水の宴を町の中心イベントにするには、短歌を詠む人の底辺を広げなければなりません。学校でも教えてほ

多くの町民が参加する「曲水の宴」。今年も優雅に行われるだろう。

## 京都の千枚漬を支える 音川早生大かぶ

婦中町 音川地区といえば、初夏はイチゴ狩り、モモ、秋はブドウ狩りと豊富な味覚を楽しめ、高台からは立山連峰を頂点に、富山平野そして日本海へと一気につながる地形が一望でき、とても素晴らしい。

「京都の千枚漬用にかぶらを作つるのは、県内でここ音川だけだわ。」と話すのは、早生大かぶを生産している端保秀市さん。早生大かぶは読んで字の



▲音川早生大かぶの端保秀市さん

ごとくわずか五十〜六十日ぐらいで直径二十センチ程に生育する。小かぶのようなかぶら臭さがなく甘みの強いのが特徴で、漬物にはびつた

### 婦中町の概要

人口 28,747人 (11月1日現在、県人口統計調査より)

面積 67.68km<sup>2</sup>

富山県のほぼ中央に位置し、空港や北陸自動車道富山I.C.から近距離にありながら、豊かな自然が残っている。町西部の丘陵地には自然博物園ねいの里やいこいの村があり、やすらぎの場となっている。現在、婦中を含めた2市4町1村にまたがる「丘の夢」構想が進められている。



▲フチュウ21WHYクラブ代表世話役の青山稔さん

フチュウ21WHY  
クラブは、奇数月の二十  
一日に二十一人が二十

## 富山県の真ん中で夢を語る

昨年の十月二十一日、婦中町社会教育センターで、明日のふるさと夢フォーラム'90 in フチュウ」が開催された。そのフォーラムには外国人を含めた約百人が参加し、ふるさとの夢を語り合い、国際色豊かなパフォーマンスも行われた。主催はフチュウ21WHYクラブ。

りとのこと。

「ある程度の標高があるのと赤土だということ、早生大かぶに向いとりみたいだわ。赤土だと甘み他の土とは違うし、標高が二〜三メートル違うと全然だからね。」そもそも音川

では、タバコを刈り取った後にかぶらを植えていたが、だんだんと手のかかるタバコの量が減って、かぶらが増えてきた。現在の生産面積は、二十戸で十三ヘクタール。「京都の漬物業者と栽培契約を結んで十年になるけど、今年の千枚漬は人気あるみたいやね。ほら、今NHKの朝の連続ドラマで京都の千枚漬の話やつとるやろ。あの影響らしいがやちゃ。」と言う端保さんは、まだ三十代後半の若さ。悩みはやはり若い後継者がいないことだとか。京都の千枚漬を支える音川の早生大かぶ。これからもがんばってほしい。

への提言を考えているところ。外国人からも意見を聞いて、国際的な立場からの提言になればおもしろいですね。今後も、文化と国際交流を中心にして、いろいろな活動を行っていきたい。」と語る青山さんは、このクラブ以外にも、とやま国際センターやユネスコ協会の世話もしている。

若さあふれる青山さんは、今日も国際交流にがんばっている。

### 明日のふるさと夢フォーラム in フチュウ

Forum CTI Our Vision for the future of our Community



# 消雪用地下水は合理的に利用しましょう。



▲降雪検知器付き  
消雪施設制御盤

本県の豊富で良質な地下水は、産業の発展や日常生活に多大な恩恵を与えてきました。

地下水は、供給と利用がバランス良く行われれば永久的に利用できる県民共通の貴重な資源です。しかしながら、近年、道路や駐車場の消雪設備が急速に普及し、冬期間にはこれらの消雪設備が一斉に稼動することにより、大幅な地下水位の低下を招くおそれがあります。このため、消雪設備の稼動にあたっては次の事項に十分留意のうえ、地下水の合理的利用及び節水に努めるようお願いいたします。

一、消雪設備の管理者を定め、降雪時以外は無駄な散水は行わないこと。

二、降雪感知器の維持管理を徹底するとともに、まだ降雪感知器が取付けない消雪設備については、できるだけ取付けること。

〈問合せ〉 県庁公害対策課又は最寄りの市町村公害担当課

知っていますか?

# 1月10日は、「110番の日」



「110番は、「あなたを守る」暮らしの緊急電話です。

警察では、「110番がもつと県民の皆さんに親しまれ、より積極的に利用していただくことを目的として毎年一月十日を「110番の日」と定め、この110番が県民のための「110番」として「気軽に利用できる」「安心して利用できる」ものであることを、全国一斉に広報を行う日としています。

一月十日には、メインスローガンを「安心を支える あなたの110番」として各地で、「110番教室」や「110番の集い」などが予定されています。事件や事故を見た時や遭った時には、「迷わず、ためらわず」「あわてず、落ち着いて」「110番してください。」

あなたの「110番」でパトロールカーが、ただちに出勤します。

## 平成2年度「富山県海外派遣報告展」開催



●目的

平成2年度富山県海外派遣事業の成果を広く県民に報告し、この事業に対する理解を深める。

●開催日及び場所

〈新川会場〉  
魚津サンプラザ

平成三年一月十九日～二十日

〈砺波会場〉  
ベル福光

平成三年一月二十六日～二十七日

●内容

(1) 第二十回富山県青年海外派遣及び第十回富山県婦人海外派遣の報告

(ア) 写真等のパネル展示

(イ) 派遣記録ビデオの上映

(ウ) 訪問国交流交歓品の展示

(エ) 団員の写真展

(2) 富山県青年・婦人海外派遣の回顧

▼問合せ

県庁婦人青少年課

☎ 0764・31・4111

(第37回)

## 1月26日は文化財防火デー



▲国指定文化財「木造男神坐像」(射水神社)

一月二十六日は、「文化財防火デー」です。この日は、昭和二十四年に法隆寺の金堂壁画が焼損した日です。

文化庁・消防庁は「文化財防火デー」を中心として文化財を火災・震災その他の災害から守るため、全国的に文化財防火活動を展開しています。

長い歴史のなかで生まれ、はぐくまれて、現代に伝えられてきた貴重な国民的財産である文化財を災害から守り、未来へと伝えて行かなければならないという気持をもちたいものです。

# 富山県立大学

TOYAMA  
Prefectural  
University

## 平成3年度学生募集

### 募集人員

工学部……機械システム工学科約64名  
電子情報工学科約64名  
短期大学部……農業技術学科約45名  
(生物生産専攻約25名、農業土木専攻約20名)  
環境工学科約20名

### 出願期間

工学部……1月22日(火)～1月31日(木)  
短期大学部……1月29日(火)～2月5日(火)



### 募集要項請求先(問合せ先)

〒939-03 富山県射水郡小杉町黒河5180  
富山県立大学入学試験実施本部

### 募集要項請求方法

二五〇円(速達を希望する場合は四六〇円)  
切手を貼付した宛先明記の返信用封筒(角形3号)を同封。請求の際封筒に「工学部(または短期大学部)募集要項請求」と朱書。



## ウッドリウム富山

### (ウッドクラフト教室)

内容 木目のきれいな「小物入れ箱」の製作

材料費 八百五十円

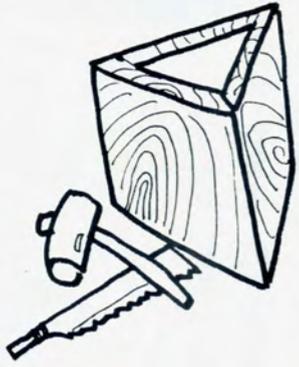
日時 一月十二日(土) 午後一時三十分より

### (日曜大工教室)

内容 木目を生かした「インテリアごみ箱」の製作

材料費 千二百五十円

日時 一月二十日(日) 午前九時より



◎場所 ウッドリウム富山

(小杉町黒河新四九四〇)

◎問合せ 0766・56・1570

## 県民パソコンワープロ教室

### (ワープロ教室)

内容 ワープロの起動と終了、文章の打ち方の基本練習、通信文等の編集、自由作品の作成及び印刷を行います。

日時 一月二十二日(火)～二十四日(木) 九時～十二時

締切 一月十四日(月)

### (ワープロ応用教室)

内容 ワープロで名簿作成、宛名ラベルとハガキの印刷、表計算、データの分類及び検索を行います。

日時 二月五日(火)～七日(木) 九時～十二時

締切 一月二十九日(火)

### (パソコンベーシック教室)

内容 パソコンについての基礎的な知識と操作を行います。

日時 二月十九日(火)～二十一日(木) 九時～十二時

締切 二月十二日(火)

## パソコンビジネス教室

内容 パソコンの基礎的な知識を学び、表計算やグラフの作成を行います。

日時 二月二十六日(火)～二十八日(木) 九時～十二時

締切 二月十九日(火)

場所 富山県情報教育センター  
小杉町黒河(富山県立大学構内)

問合せ 富山県情報教育センター

☎0766・56・7161



愛称は、「ジエットくん」に!

ジャパンエキスポ'92  
マスコットマークの愛称決まる



平成四年七月、「人間—その内と外 富山から世界へ・未来へ」をテーマに開催される「第1回ジャパンエキスポ富山'92」のマスコットマークの愛称が「ジエットくん」に決まりました。

全国より1979点の作品が応募され、審査の結果、最優秀賞に選ばれたのは、次の五名の方々です。

### 《最優秀賞》

飯田学(14才・富山市・新庄中3年)  
小林和博(16才・富山市・富山南高校2年)  
松田ゆかり(33才・富山市・団体職員)  
北川賢二(34才・大阪・音楽家)  
西野禎一(62才・大阪・無職)

県政モニター募集

# お聞かせください、 あなたの声を県政に。

富山県では、県政に対する意見や要望を、広く県民の皆さんから聞かため、県政モニターを募集しています。



●モニターの職務  
県政に関するアンケートに回答していただくほか、県政全般にわたって、建設的な意見・要望等を随時提言していただきます。

●募集人員・任期  
五十名・二年間（平成三年四月から）

●応募資格  
県内に居住する満二十歳以上のかた

で、県政に関心をお持ちのかた。ただし、公職選挙法による公職者、公務員及び県政モニター経験者は除きます。

●応募方法・応募先  
はがきに下記記入例の要領で応募ください。

●締め切り  
平成三年一月三十一日（一月三十一日消印有効）

●選考結果  
県政モニターになっていただく方には、三月下旬にご本人宛にお知らせします。

応募者多数の場合は、市町村、年齢、性別、職業の別などに留意して選考します。

●問合せ  
県庁広報課0764・31・3131

郵便はがき  
〒930-0000 富山県 富山市新総曲輪一七  
富山県庁  
企画県民部広報課行

住所  
氏名  
生年月日  
性別  
電話番号

郵便番号

「県政モニター」に応募します

- 1、職業区分・勤務先
- 2、各種モニター経験の有無  
○年度○モニター
- 3、県政モニター応募の抱負  
(50字程度)

職業区分  
①農林・漁業 ②建設・製造業 ③商工サービス業・自由業 ④主婦 ⑤無職

## イベントに 補助します。

広く県民が参加でき、地域の活性化や新しい富山の顔づくりを目的とするイベントに対し補助します。

- 1、対象  
平成三年度に実施予定の新規及び既存イベント。
- 2、補助率  
イベント経費の1/3以内
- 3、補助額  
五百万円を上限とする。
- 4、募集期間  
平成三年二月二十八日まで
- 5、問合せ  
県庁企画調整  
室イベント班  
0764・31・4111  
内線307



### 富山県住みよい家づくり資金申込案内

県では、県内に自ら居住するために住宅を新築、購入又は改良される方に対し、低利で資金を融資し、みなさんの家づくりのお手伝いをしています。なお、雪に強い住宅を新築、購入、又は改良される場合は、更に低利で融資します。

- (一)融資限度額  
新築 三百二十万円  
改良・中古 二百万円  
ただし、公庫資金の1/2以内
  - (二)償還期間  
新築 二十年内  
改良・中古 十年以内
  - (三)融資利率  
一般住宅 五・八%
- ※詳しくは、住宅供給公社(0764・325131)又は県庁建築住宅課(0764・314111内線665)

●対象住宅  
雪に強い住宅 四・八%  
老人同居住宅、心身障害者同居住宅等、他七住宅  
〈雪に強い住宅〉  
耐雪住宅、融雪住宅、自然降雪住宅  
平成三年二月二十八日まで県内各金融機関において

### 平成3年2月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
2	土	高岡駅前	10:00~15:30
3	日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前	10:00~15:30
9	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00~16:00
10	日	富山市中央通り	10:00~16:00
12	火	城端町役場前	10:00~15:30
16	土	富山西武前	10:00~16:00
17	日	富山西武前	10:00~16:00
23	土	高岡駅前	10:00~15:30

※富山県赤十字血液センター（富山市牛島本町）では、毎土曜日の午後も開所し（祝日除）、献血を受付けています。

### 県政の動き

平成2年11月11日~12月10日

- 11月14日 富山県産業創造センター定礎式  
国道359号婦中バイパス開通式
- 11月15日 一日庁議  
スワジランド王国皇太子知事表敬
- 11月16日 '90いきいきとやまパフォーラム
- 11月17日 富山県婦翔会10周年記念フォーラム  
職業能力開発フェア（~18日）
- 11月18日 ジャパンエキス泊富山'92開幕前600日キャンペーン
- 11月20日 ゆとり創造シンポジウム in とやま



- 11月22日 全国アマチュア演劇研究大会（~25日）
- 11月26日 青少年育成富山県大会



- 整備新幹線建設促進決起大会
- 高齢者ケア国際シンポジウム
- 富山県競技力向上対策本部設立総会



- 11月28日 第2回県民カレッジフェスティバル  
地域衛星通信ネットワークシンポジウム
- 11月30日 県立図書館50周年記念フォーラム
- 12月2日 利賀少年自然の家開所10周年記念式典
- 12月3日 第6回イメージディレクター懇談会
- 12月5日 平成2年秋の叙勲伝達式
- 12月6日 富山県美術連合展開会式（~9日）
- 12月7日 「障害者の日」キャラバンキャンペーン隊出発式



# 日本モダニズム建築の造形

関西電力黒部川第二発電所 | 昭和11年  
設計：山口文象  
(旧日本電力黒部川第二発電所)



山口文象もまた日本のモダニズム建築の創始者の一人で、山田守に誘われて「分離派」に参加した。しかし、職工学校出身で通信省官繕課の製図工に過ぎなかった彼は、帝大出のエリート建築家の理想主義に我慢ができず、建築デザインにもっと社会的な基盤を求めて、創字社という建築団体を作って左翼的なモダニズムの活動をしたりとである。昭和初期には世界のモダニズム建築のみならず二十世紀の造形デザイン全体の基本を作った芸術学校「パウハウス」の創設者、ドイツのW・グロピウスのもとへ留学したが、その時に建築ばかりでなく土木工学、特にダム設計も研究した。帰国後、彼は内務省復興局技師を勤める傍ら日本電力の嘱託技師を兼任して、ダムや発電所を設計した建築家としては特異な経歴を持つ。

この作品は、日本のモダニズム建築の生み出した最も美しい作品のひとつと言ってよいであろう。構成は極めて単純で発電機室は柱と梁のラーメン構造のグリッドをそのまま見せ、全面にガラスを入れる。その左側の制御室の部分は逆に、床をキャンティレバーで持ち出して、窓をガラスのカーテンウォールとし、柱梁を内部に隠して、壁面は対照的な扱いである。何の変哲もないごく当たり前のデザインだが、ラーメンのグリッド及びスチール・サッシ、建物各部の比例は誠に美しい。幾何学的な構図が徹底して追



求された結果、透徹した清冽なデザインの建築が生まれたのである。山口はまたこの発電所の為の小屋平ダムも設計しているが、それも表現派ないし未来派的な、迫力あるデザインで作っている。この発電所へアプローチする表現派的デザインの、魅力的な赤い鉄骨橋もおそらく彼のデザインである。

彼は富山県内では、この他に庄川、大牧下流の小牧ダムと発電所、迫力ある近代和風建築の旅館、大牧温泉も設計している。

解説／竺 覚暁(工学博士金沢工業大学教授)  
写真／風間耕司(日本写真家協会会員)

表2 エッセイ／大久間喜一郎  
P1 年頭の辞／富山県知事沖豊  
P2 クローズアップ  
①職業能力開発フェア  
②全国アマチュア演劇研究大会  
③県立図書館50周年記念フォーラム  
④第6回イメージディレクター懇談会  
P8 トビックス／新富山県総合雪対策計画  
P12 特集／一日部長・一日庁議  
PIN UP TOYAMA  
撮影／赤羽仁論  
P14 県庁探訪／学術国際課  
P16 ふるさとみである記／婦中町  
P18 県からのお知らせ



●表紙撮影／滝川邦彦(日本写真家協会会員)  
県境に近い氷見市女良漁港の朝は早い。この日、雨風が吹き、稲妻が走る中、漁港は豊漁にわいた。寒ぶりを両手で抱える酒井光雄さんの顔が喜びに満ちる。まさに冬の風物詩を目の当たりにした、感動的な朝だった。

### 県政については

- 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)  
☎(0764)31-4111代  
31-3131(県民電話)  
高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)  
☎(0766)21-9411代  
魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)  
☎(0765)24-5311代  
砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)  
☎(0763)33-5151代

### 物価ダイヤル

物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。  
☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)

### 消費生活については

- 消費生活センター  
富山市安住町7-18  
安住町第一生命ビル内  
(一般相談は)  
☎(0764)32-9233  
(金融相談は)  
☎(0764)33-3252  
消費生活センター高岡支所  
高岡市本丸町7-1  
本丸会館内  
☎(0766)25-2777

### 交通事故については

- 富山県交通事故相談所東別館1階  
☎(0764) 31-4111内759  
**相談110番**  
家庭問題・悪質高法・寛  
せい刑など、どんな相談  
にも応じます。  
☎(0764)42-0110  
**シルバー110番**  
高齢者や家族の心配ごと、  
悩みごとに富山県高齢者  
総合相談センター  
富山市舟橋南町5-14  
社会福祉会館内  
☎(0764)41-4110

## 県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

<h3>テレビ広報</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔・陽子のふるさとトーク」 北日本放送 毎週日曜日AM9:30~10:00 「こんにちは富山県です」 1/6 いきいき人生~シルバーワールドとやま~ 1/13 冬こそスポーツ!! 1/20 過去からのメッセージ~富山の文化財~ 1/27 ねたきり・痴呆防止対策</li> <li>●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「110万人のひろば~クイズ/フォーカス・イン」</li> </ul>	<h3>ラジオ広報</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>●FMとやま 「ふれあいホットライン」 県内各地からホットな話題をク リアなサウンドでおとどけしま す。 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35</li> </ul>	<h3>新聞広報</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>●北日本、富山、読売、北陸中日、 朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」</li> </ul>
---	---	--

### 編集後記



◆県庁探訪の取材でお伺いしたとやま国際センターのニューポルトさんのお話。「どちらの高校ですか」と電車に乗っていた学生に聞いたところ、「滑川です。」という返事が返ってきた。「Oh!m From America, too!?!」 (T)

◆婦中町・青山光明さんの多彩な趣味には驚いた。短歌、俳句、尺八、民謡……。どれも二十代から始めたとか。「若いうちに生きがいを見つけたい方が多いよ」と青山さん。うーん、「生きがい」ね。日頃の怠惰な生活に慣れ親しんでいる私にとっては、無縁の言葉。いくつになつたら生きがいと言えるものが見つかるのだろうか。(Mi)

♥明けましておめでとうございます。昨年の四月からこの県広報とやまの担当になり、初めての正月を迎えています。昨年は無我夢中でとにかく紙面を埋めることに全情熱を傾けてきましたが、今年は個性的でユニークな分りやすい広報誌を作るために創意工夫していきたいと思っております。よろしくお願いします。(Mu)

思いやりは、でっかい白星。



はたちの献血

キャンペーン

1月12日～2月11日

20歳の記念の日

。。。。

おめでとう、20歳。

いよいよ大人の仲間入りですね。

新しいスタートの記念に、

愛の献血をなさいませんか。

冬季は特に献血者が少なく、

血液が不足しています。

あなたの思いやりが、

見知らぬところで誰かのために

役立っています。

愛の献血で

社会に善意の輪を

広げましょう。

新しい時代の

新しい献血(成分献血)

●献血は、成分献血・400ml献血・200ml献血の3つの献血方法から選ぶことができます。中でも成分献血は血液中の血しょうや血小板だけを献血していただく新しい方法で、現在、医療で最も必要とされており。

◎お問い合わせは、赤十字血液センター(☎0764・41・5733)、県庁薬務課(☎0764・31・4111内線456)、または市町村の担当課へ。

